

**安浦町中畑・下垣内地区ワークショップによる
復興に向けた提案書**

令和元年7月8日

安浦町中畑・下垣内地区住民によるワークショップ

復興に向けた提案

1 安全性と賑わいを支える拠点の整備

中畑・下垣内地区では今回の豪雨の際、避難勧告等の発表を受けながら、災害の発生時には、ほとんどの人が自宅待機（自宅避難）の状態、指定避難所等に避難した人は少数でした。災害発生後、応急的に被災者の避難所として中畑自治会館、円照寺本堂を開設し、避難生活の場として使用しました。

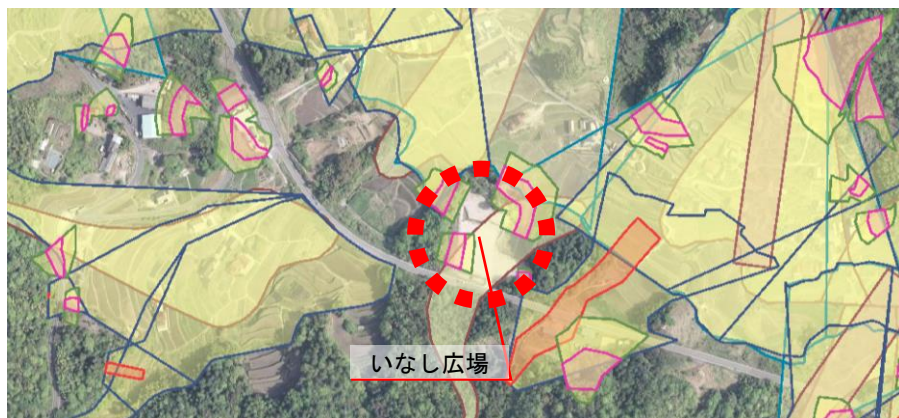
この要因として、避難所が遠距離にあることや、土砂崩れによる避難路の寸断など、避難経路が危険な状態で、避難所までの移動が大変困難であったことが考えられます。

今後、こうした事態を回避するためには、日常的に地域の拠点として活用され、有事の際、誰もが安心して避難できる場づくりを地域全体で行っていく必要があります。

中畑・下垣内地区は、市原地区とともに緑の里「いなし」として、運営協議会を設立し活動を展開しており、その取組の中で呉市公共施設等里親制度を利用して、美化活動等、小学校跡地である「いなし広場」の維持管理を行っています。この「いなし広場」では、地域コミュニティイベントとして「緑の里いなし秋穫祭」等を開催してきました。こうした地域資源を活かしながら、より安全な場所に拠点を整備し、「いなし」として地域のつながりを深めていくことは、コミュニティの維持・活性化だけではなく、防災・減災の面でも大変有効であると考えます。

具体的には、尾根があり安全性が高く、県道34号線（矢野安浦線）沿いに位置する「いなし広場」をコミュニティ活動の拠点として活用し、平時はイベント等の交流拠点として、災害時には避難場所・避難所を兼ねた多目的施設として整備していくことを提案します。

想定する取組	実施主体
いなし広場整備検討会	地域、呉市
いなし広場整備事業	呉市



日常的に使う

みんなが集う、憩いの場としての機能を検討します。



共同菜園 ※ 秋穫祭



災害に備える

災害時のための備蓄や、必要な機能を充実させます。



かまどベンチ※ 災害用トイレ※

※出典：福島県南相馬市の事例

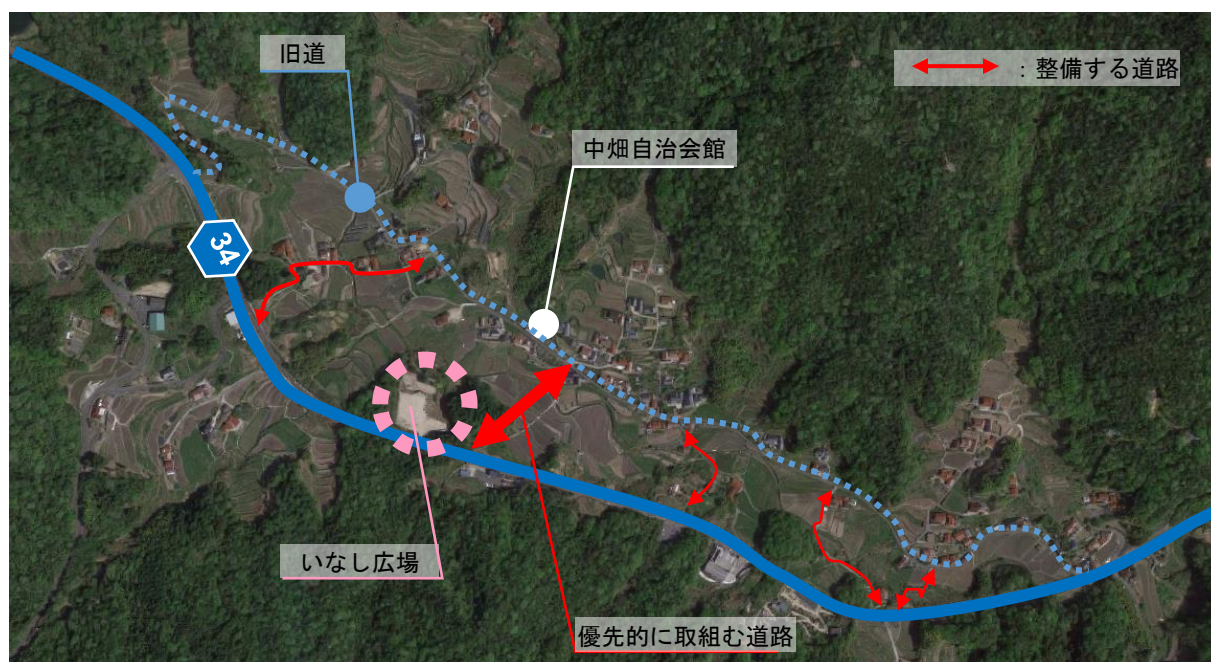
2 安全な避難路の整備

中畑・下垣内地区の集落の多くは、旧道沿いに広がっています。この旧道は、地区住民の生活を支える道路として重要な役割を担ってきましたが、1988年（昭和63年）に県道34号線（矢野安浦線）バイパス区間が開通して以降は、主要な交通網は現在の県道へと移りました。

現在、旧道と県道34号線（矢野安浦線）を結ぶ道路は狭あいであり、今回の災害と同等以上の土砂災害が生じた場合には、各所で道路寸断などの発生が懸念されており、今後起こりうる災害に備え、安全な「いなし広場」への避難路を確保しておくことが重要と考えます。

このため、いなし広場の整備スケジュールに合わせて、広場と集落地を直結する道路から優先して検討・整備を行うこと、また、集落地内の道路整備に際しては、離合場所の追加や危険箇所へのガードレール設置等による安全面の強化について提案します。

想定する取組	実施主体
道路整備	地域， 呉市
道路管理	地域， 呉市



▲いなし広場につながる道路整備のイメージ

3 災害に強い土木施設等の整備

- ・ 将来にわたり、安全・安心に生活できるよう、砂防えん堤の早期整備とともに、既存の砂防・治山えん堤に溜まっている土砂の撤去、流出していない土砂等の調査・対策の実施について提案します。
- ・ 中畑川支流や県道34号線（矢野安浦線）南側等は、今後、土砂災害が発生する可能性について調査研究を提案します。その結果を基に、新たな砂防えん堤や治山えん堤の整備の必要性や優先度について検討し、具体的に事業化していくことを提案します。
- ・ 中畑川等の復旧・改修や拡幅整備、砂防えん堤整備の工事用道路について、生活用道路としての活用を提案します。
- ・ 既存水路の早期復旧や拡幅整備等の機能強化について、地域と連携して一緒に検討し、事業を実施していくことを提案します。また、集落内の道路側溝について、日常的に維持管理しやすくなるよう配慮した復旧整備を提案します。
- ・ 二次災害の恐れがある市道法面の改修や、土砂の流出を防止するための土砂流出箇所への植林などを含めた山の管理について、地域と協力して検討するよう提案します。
- ・ 県道34号線（矢野安浦線）の中ヶ原付近の交互通行区間の早期復旧に向けた取組を行うとともに、中畑バイパスの歩道未整備区間への歩道の設置及び林道下垣内・赤向坂線取付部の法面復旧にあたっては、デザイン性のある法面の整備を行うことなどについて、地域と一緒に検討するよう提案します。

想定する取組	実施主体
砂防えん堤の整備・点検	広島県
河川整備	広島県，呉市
法面・山の改修・管理	国，広島県，地域
県道34号線の整備検討	広島県，地域

4 効率的な農地の整備

- ・ 地域の産業である農業を将来にわたって維持するため、農地に流入した土砂の除去及び破損した農業用施設（水路・農道）の早期復旧について提案します。また、効率的な農業を行うための農地の整形化・統合によるほ場整備を含めて地域で検討します。
- ・ 農業生産力を向上するため、復旧後の農地の活用検討や地域に適した製品の試験的生産等に向けた取組を検討していきます。こうした地域における活動に対する市のサポートを提案します。

想定する取組	実施主体
ほ場整備を含めた復旧事業等	地域， 呉市
農業用施設の復旧・整備	地域， 呉市
地域の産品試験的生産	地域， 呉市

5 地域での避難を支える仕組みづくり

- ・ 今後、起こりうる災害から自分たちの命を守るためには、「自助」、「共助」の強化による防災力の向上に向けた取組が不可欠です。このため、地区全体で、地域での避難を支える仕組みづくりに向け、次のような取組を検討していきます。こうした地域における活動に対する市のサポートを提案します。

- 危険箇所の確認やテーマを決めた防災勉強会、他の被災地の復旧・復興の経緯等の視察・学習等
- 新たな避難場所をいなし広場へ設ける方向で検討する。（地域避難所として中畑地区は当面、中畑自治会館を利用し、サブ避難所として円照寺、地倉神社の活用も検討する。下垣内地区は、正福寺（観音堂）の活用を検討する。）
（多目的な地域活動に活用でき、他地域からの移住につながる整備も含め検討）
- 災害の記憶を石碑で残すなど、防災の意識を常に忘れないための取組
- 災害時、避難する際の助け合い体制の連絡体制の構築

想定する取組	実施主体
防災勉強会・視察研修	地域， 呉市
避難場所・体制検討	地域， 呉市
災害教訓の継承活動	地域， 呉市

6 地域に賑わいを戻す取組の推進

- ・ 災害により地域から離れた人を呼び戻すとともに、新たな居住者を呼び込むことで、地域に賑わいを戻すため、次のような取組を検討していきます。こうした地域における活動に対する市のサポートを提案します。

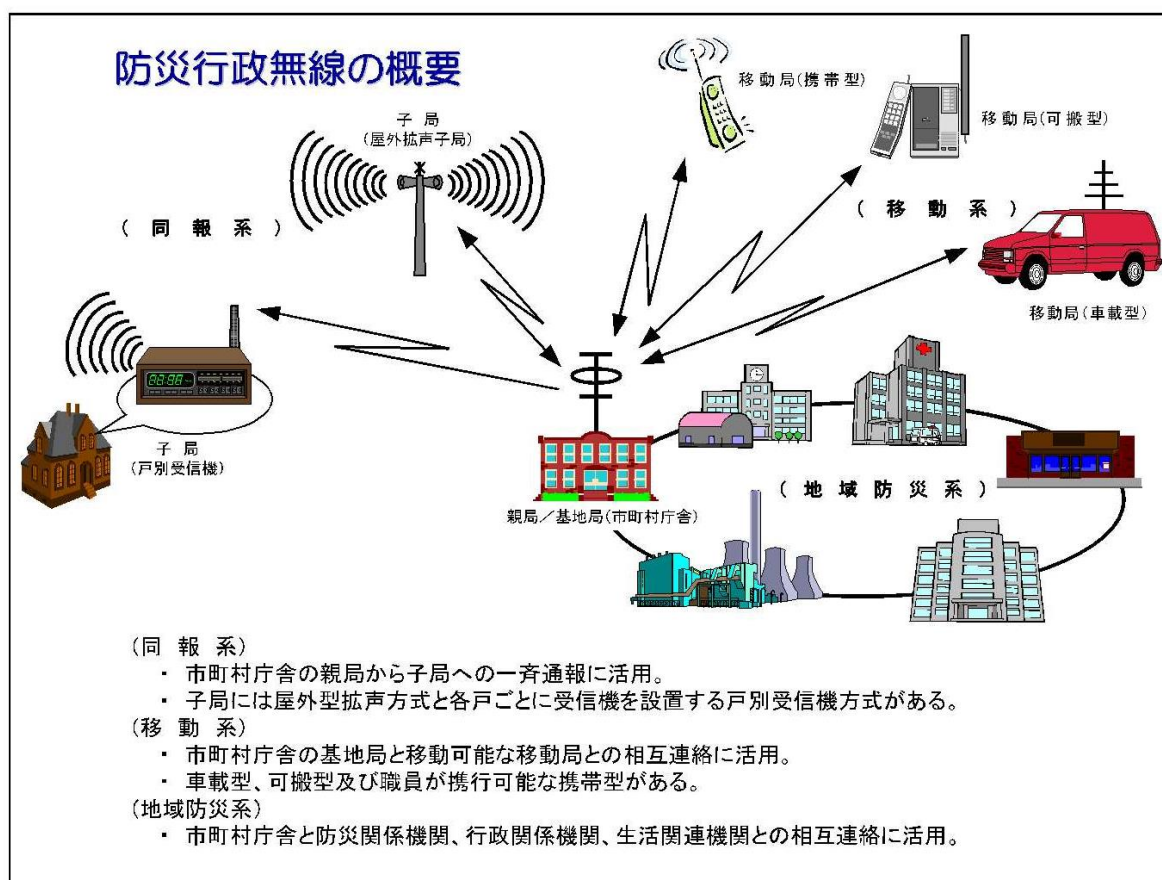
- 農泊・民泊と合わせた地域めぐりのイベントや空家の民家農泊としての活用，農泊についての勉強会などによる移住者等の受入体制の整備
- 棚田や赤瓦の民家，鉄砲峠などの集落景観，正福寺（観音堂），地倉神社，風呂谷神社などの文化的資源，ホテルの生息する環境などの保全・活用
- 地域資源の活用や地域づくりの勉強のコーディネーターとしての地域おこし協力隊の協力・支援

想定する取組	実施主体
地域資源を活かした 交流人口拡大に向けた勉強会	地域， 呉市
地域おこし協力隊の支援	地域， 呉市

7 防災情報の確実な伝達

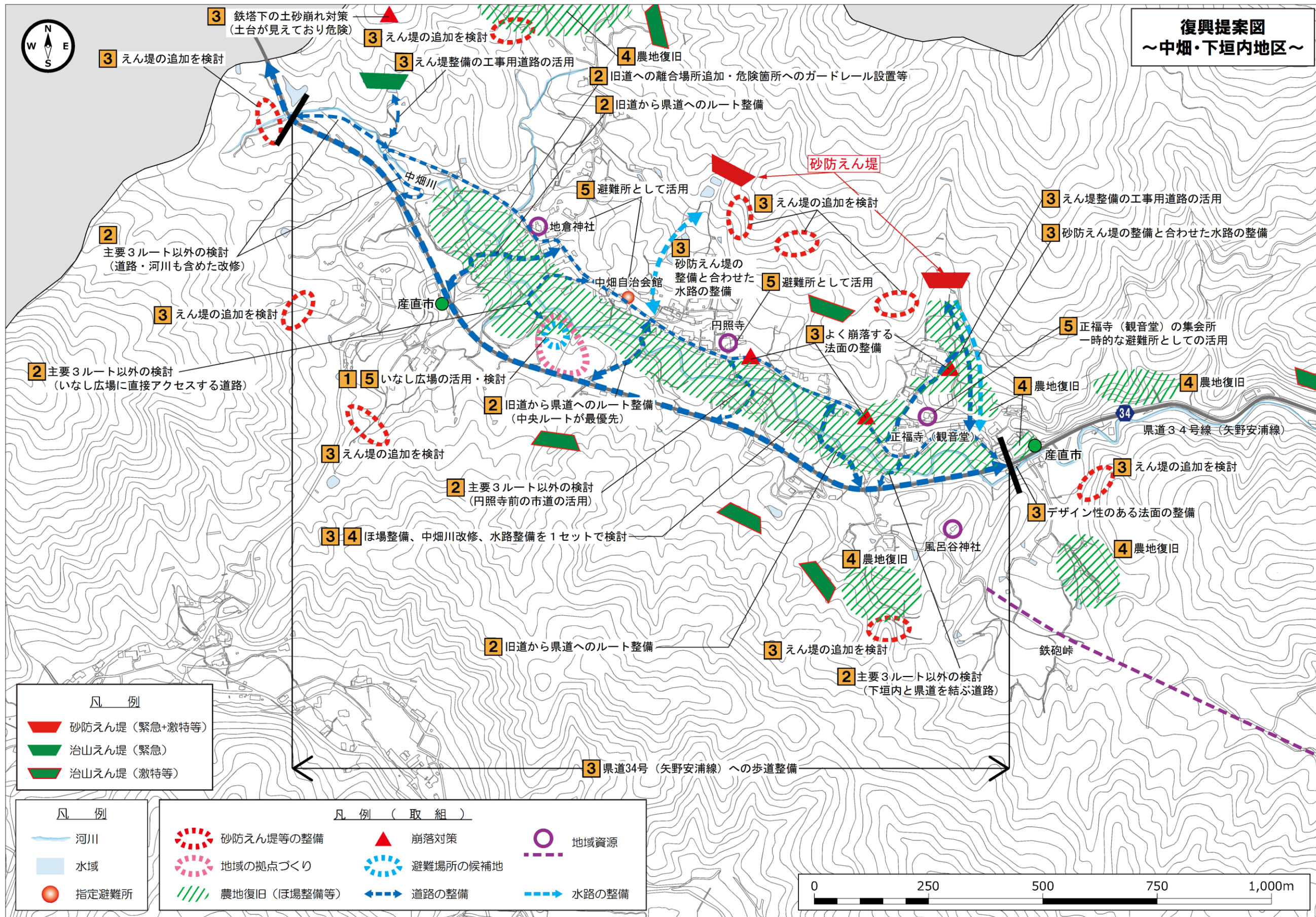
- ・ 防災行政無線の屋外拡声子局からの放送が雨音により聞き取りにくく、正確な情報を取得できない場合があったことから、各戸への防災行政無線受信機の設置などによる確実な情報伝達手段の確保について提案します。

想定する取組	実施主体
防災行政無線の戸別受信機設置	呉市



▲防災行政無線の概要

※出典：気象庁 「緊急防災情報に関する調査」報告について



復興提案図
～中畑・下垣内地区～

- 凡 例
- 砂防えん堤（緊急+激特等）
 - 治山えん堤（緊急）
 - 治山えん堤（激特等）

- 凡 例
- 河川
 - 水域
 - 指定避難所
- 凡 例（取 組）
- 砂防えん堤等の整備
 - 地域の拠点づくり
 - 農地復旧（ほ場整備等）
 - 崩落対策
 - 避難場所の候補地
 - 道路の整備
 - 地域資源
 - 水路の整備

▲ 復興提案図